資料４

令和３年度分の地域包括支援センターの評価基準に係る運用について（案）

Ⅰ　評価基準に係る運用について

○　令和３年度分の地域包括支援センターの活動状況については、令和３年３月に開催した広島市地域包括支援センター運営協議会において承認された「評価基準」に基づき、評価を実施することとしている。

○　しかし、新型コロナウイルス感染症の影響は現在も続いており、各種活動の自粛等によって、前年度同様、令和３年度の活動計画に基づく事業遂行が難しい項目が生じると考えられる。

○　一方で、オンラインを活用した会議の開催など、コロナ禍を踏まえて工夫を凝らした取組も行われているところである。

○　このため、各センターにできる限りの取組を促すという意味で、令和３年度分の数値の一部を参考値にとどめ評価を行わない取扱いとするかどうかについては、令和３年４～１２月の活動状況等を踏まえ、改めて令和４年３月に開催予定の本運営協議会で審議した上で決定する。

Ⅱ　運用見直しの対象となる可能性のある項目

会議・講座の実施回数など定量的な評価項目のうち、新型コロナウイルス感染症対策によって事業遂行に影響を受ける可能性のある項目及びこれらの項目の結果を踏まえて評価を行う項目は、評価項目７５項目のうち以下の１８項目が考えられる。

２　地域のネットワーク構築

①【関係機関との連携づくり】

評価点(点)	項　　目
4	地域団体主催の会議に、小学校区数に12を乗じた回数以上参加するとともに、圏域内の偏りなく参加している。
3	地域団体主催の会議に、小学校区数に9を乗じた回数以上参加している。多くの高齢者（60%以上）が、自分の地域の地域包括支援センターを利用したいと思っている。
2	地域団体主催の会議に、小学校区数に6を乗じた回数以上参加している。
1	地域団体主催の会議への参加回数が、小学校区数に6を乗じた回数未満である。

③【地域ケア会議の開催】

評価点(点)	項　　目
4	地域ケア会議の開催回数が、高齢者人口1,000人当たり年4回以上であり、圏域内の偏りがない。
3	地域ケア会議の開催回数が、高齢者人口1,000人当たり年2回以上4回未満である。
2	地域ケア会議の開催回数が、高齢者人口1,000人当たり年1回以上2回未満である。
1	地地域ケア会議の開催回数が、高齢者人口1,000人当たり年1回未満である。

５　包括的・継続的ケアマネジメント支援

⑴　包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築

②【介護サービス事業所相互の連携】

評価点(点)	項　　目
4	サービスの種別を問わず、介護サービス事業所相互の連携を図り、ネットワークが構築できている。
3	介護サービス事業所相互の連携を図り、ある程度ネットワークが構築できている。
2	介護サービス事業所相互の連携を図っているが、ネットワーク構築には至っていない。
1	介護サービス事業所相互の連携をあまり図っていない。

⑵　介護支援専門員に対する支援

②【介護支援専門員のネットワーク構築】

評価点(点)	項　　目
4	介護支援専門員のニーズに基づいた介護支援専門員対象の連絡会や研修会、事例検討会を年24回以上開催するとともに、圏域内の概ね90%以上の居宅介護支援事業所が参加している。
3	介護支援専門員のニーズに基づいた介護支援専門員対象の連絡会や研修会、事例検討会を年12回以上24回未満開催している。
2	介護支援専門員のニーズに基づいた介護支援専門員対象の連絡会や研修会、事例検討会を年6回以上12回未満開催している。
1	介護支援専門員のニーズに基づいた介護支援専門員対象の連絡会や研修会、事例検討会の開催回数が年6回未満である。

6　介護予防ケアマネジメント

⑵　介護予防ケアマネジメント

⑥【サービス利用後の地域とのつながり】

評価点(点)	項　　目
4	介護予防ケアマネジメント対象者のうち、３%以上の者が機能改善により一般介護予防事業等の地域の取組につながっている。
3	介護予防ケアマネジメント対象者のうち、２%以上３%未満の者が機能改善により一般介護予防事業等の地域の取組につながっている。
2	介護予防ケアマネジメント対象者のうち、２%未満の者が機能改善により一般介護予防事業等の地域の取組につながっている。
1	介護予防ケアマネジメント対象者のうち、機能改善により一般介護予防事業等に移行した者がいない。

7　重点事業

⑴　地域介護予防拠点整備促進事業

①【普及啓発】

評価点(点)	項　　目
4	介護予防の必要性やいきいき百歳体操など運動の効果について、会議や教室で年24回以上説明している。
3	介護予防の必要性やいきいき百歳体操など運動の効果について、会議や教室で年12回以上説明している。
2	介護予防の必要性やいきいき百歳体操など運動の効果について、会議や教室で年6回以上説明している。
1	介護予防の必要性やいきいき百歳体操など運動の効果に関する説明は、年6回未満である。

②【立ち上げ箇所数】

評価点(点)	項　　目
4	いきいき百歳体操を取り入れて週1回以上開催する介護予防拠点を4か所以上立ち上げている。
3	いきいき百歳体操を取り入れて週1回以上開催する介護予防拠点を2か所以上立ち上げている。
2	いきいき百歳体操を取り入れて週1回以上開催する介護予防拠点を1か所立ち上げている。
1	いきいき百歳体操を取り入れて週1回以上開催する介護予防拠点を立ち上げることができなかった。

③【参加数】

評価点(点)	項　　目
4	介護予防拠点の参加者が高齢者人口1,000人当たり65人以上である。
3	介護予防拠点の参加者が高齢者人口1,000人当たり55人以上65人未満である。
2	介護予防拠点の参加者が高齢者人口1,000人当たり45人以上55人未満である。
1	介護予防拠点の参加者が高齢者人口1,000人当たり45人未満である。

④【介護予防の取組】

評価点(点)	項　　目
4	介護予防教室や介護予防拠点において、運動だけでなく、低栄養予防、口腔機能改善、認知機能向上など、バランスよく介護予防の取組を促進している。
3	なし
2	介護予防教室や介護予防拠点において、もっぱら運動だけで、低栄養予防、口腔機能改善、認知機能向上などとバランスがとれた介護予防の取組は促進していない。
1	なし

⑤【地区診断等を踏まえた取組】

評価点(点)	項　　目
4	地区診断等を基に、地域の実態を踏まえた全体計画を作成した上で計画的に取組を実施しており、着実に成果が上がっている
3	地区診断等を基に、地域の実態を踏まえた全体計画を作成した上で計画的に取組を実施している。
2	地区診断等を基に、地域の実態を踏まえた取組になるよう努めている。
1	地域の実態を踏まえた取組になっていない。

⑵　高齢者地域支え合い事業

③【見守り協力員に対する情報交換会、研修会等の開催】

評価点(点)	項　　目
4	見守り協力員に対して、情報交換会や見守りに関する研修会などを年２回以上開催している。
3	見守り協力員に対して、情報交換会や見守りに関する研修会などを年１回開催している。
2	見守り協力員に対して、情報交換会や見守りに関する研修会開催に向けた調整を行っている。
1	見守り協力員に対する情報交換会や見守りに関する研修会などを開催に向けた調整をしていない。

⑶　在宅医療・介護連携推進事業

①【情報交換会や事例検討会の開催】

評価点(点)	項　　目
4	３に加えて、テーマに応じて、医療関係者（医師、歯科医師、薬剤師、リハビリ専門職）や介護関係者（介護支援専門員、サービス提供事業所）、地域団体（民生委員、地区社協）など、多様な参加者による情報交換会や事例検討会を、随時、開催している。
3	圏域内の多職種による情報交換会・事例検討会等を年2回以上開催している。
2	圏域内の多職種による情報交換会・事例検討会等を年1回開催している。
1	圏域内の多職種による情報交換会・事例検討会等をほとんど開催していない。

②【市民向けの教室等の開催による普及啓発】

評価点(点)	項　　目
4	市民向けのＡＣＰの教室等を、年２回以上開催している。
3	市民向けのＡＣＰの教室等を、年１回以上開催している。
2	なし
1	市民向けのＡＣＰの教室等を開催していない。

⑤【地区診断等を踏まえた取組】

評価点(点)	項　　目
4	地区診断等を基に、地域の実態を踏まえた全体計画を作成した上で計画的に取組を実施しており、着実に成果が上がっている
3	地区診断等を基に、地域の実態を踏まえた全体計画を作成した上で計画的に取組を実施している。
2	地区診断等を基に、地域の実態を踏まえた取組になるよう努めている。
1	地域の実態を踏まえた取組になっていない。

⑷　認知症支援体制づくり

①【認知症サポーター養成講座】

評価点(点)	項　　目
4	認知症サポーター養成講座を見守り協力員などの地域住民や民間企業、学校など、幅広い対象に対して、年4回以上開催している。
3	認知症サポーター養成講座を見守り協力員などの地域住民や民間企業、学校など、幅広い対象に対して、年3回開催している。
2	認知症サポーター養成講座を年2回以上開催している。
1	認知症サポーター養成講座の開催回数が年1回以下である。

②【認知症サポーターとの連携】

評価点(点)	項　　目
4	3に加え、認知症地域支援推進員と連携し、認知症サポーター、認知症サポーターステップアップ講座の修了者と連携し、認知症カフェの運営等、認知症高齢者を支援する活動を行っている。
3	認知症地域支援推進員と連携し、認知症サポーターステップアップ講座の開催や認知症サポーター、認知症サポーターステップアップ講座の修了者と連携した認知症の地域支援体制づくりに関する協議を行っている。
2	なし
1	認知症サポーターと連携した取組は行っていない。

③【認知症カフェに関する支援】

評価点(点)	項　　目
4	認知症地域支援推進員や圏域内の医療・介護関係者等と連携し、小学校区偏りなく認知症カフェの立上げ支援や運営支援を行っており、圏域内に３か所（圏域小学校区数が３未満の場合は当該校区数）以上の認知症カフェがある。
3	認知症地域支援推進員や圏域内の医療・介護関係者等と連携し、小学校区偏りなく認知症カフェの立上げ支援や運営支援を行っており、圏域内に２か所（圏域小学校区数が３以上の場合に限る。）の認知症カフェがある。
2	認知症地域支援推進員や圏域内の医療・介護関係者等と連携し、小学校区偏りなく認知症カフェの立上げ支援や運営支援を行っており、圏域内に１か所（圏域小学校区数が２以上の場合に限る。）の認知症カフェがある。
1	認知症地域支援推進員や圏域内の医療・介護関係者等と連携し、小学校区偏りなく認知症カフェの立上げや運営に関する協議は行っているが、センターとしての具体的な活動には至っていない。

⑦【情報交換・意見交換の開催状況】

評価点(点)	項　　目
4	3に加え、医療機関（認知症専門医や認知症サポート医、かかりつけ医）や介護関係者の連携強化に繋がる認知症支援に関する取組を定期的に開催している。
3	認知症をテーマにした圏域内の多職種情報交換会・事例検討会等を年1回以上開催している。
2	なし
1	認知症をテーマにした圏域内の多職種情報交換会・事例検討会等を開催していない。